

感謝の心をこめて

Challenge & Smile



平成28年7月26日

No.16-168

株式会社 いよぎん地域経済研究センター

## 愛媛県内大学生の暮らしぶりについて

堅実な暮らしりと安定した将来を求める学生

株式会社いよぎん地域経済研究センター（略称IRC、社長 重松 栄治）では、このたび、県内大学生へのアンケート結果を取りまとめましたので、下記のとおりお知らせします。なお、詳細は2016年8月1日発行の「IRC Monthly」2016年8月号に掲載します。

記

### 【調査要旨】

- ・ アンケートによる月間の収入総額の平均は、自宅生が6.9万円、自宅外生が12.0万円と、ともに昨年より増加した。学生全体では9.8万円と、2009年の調査開始以来最高となった。
- ・ 貯蓄を除く月間支出総額の平均は、自宅生が4.5万円、自宅外生が10.1万円となった。収入額は増加しているが、支出額はほぼ変化なく、学生の財布のヒモは固いようだ。また、毎月の貯蓄額は2.1万円と過去最高となった。
- ・ 就職活動は、7割弱が4回生になる前の春休みから始める・始める予定であり、4回生は「就職サイトに登録」「企業説明会」「webエントリー」など本格的に活動しているが、3回生は6割弱が「特に何もしていない」状況である。
- ・ 就職先の希望は男女とも「公務員・団体職員」（40.1%）が最多となった。「経営が安定している」ことを重視する学生は98.0%と、大多数が収入や生活に“安定”を求めている。
- ・ 「愛媛で就職したい」と答えた愛媛出身の学生は8割弱となった。県外出身者も「出身地で就職したい」との自由回答が圧倒的に多く、地元志向が強いと言える。
- ・ 「結婚したい」と答えた学生は、男性が93.4%、女性が88.5%となり、男性が女性を上回った。2011年に実施した調査では、男性が91.8%、女性が95.2%であり、この5年で男女の結婚願望が逆転していることが分かる。
- ・ 11年調査では、「結婚したい」と答えた人全員が「子どもが欲しい」と回答していたが、今回の調査では「結婚したい」もの子どもは「欲しくない」とした人が3.7%、「結婚したくない」が子どもは「欲しい」と答えた人も8.4%と、“結婚”や“出産・育児”に対する考え方の多様化が進んでいる。

以上

私たちはチャレンジします。みなさまの笑顔のために。

NEWS RELEASE

株式会社 伊予銀行 愛媛県松山市南堀端町1番地 〒790-8514 TEL(089) 941-1141

IRC では、県内大学生の暮らしぶりを把握するため 2009 年からアンケートを実施している。以下は本年の結果である。

| アンケートの概要 |   |
|----------|---|
| 時期       | 2016 年 4 月中旬～ 5 月上旬   |
| 対象       | 愛媛大学法文学部「現代政治理論」、<br>「数理的思考」、「卒業演習」、<br>松山大学経営学部「地域産業論」、<br>松山大学経済学部「経済政策論」<br>の受講生 |
| 方法       | あらかじめアンケート用紙を配付し、<br>その場もしくは後日回収。無記名方式。   |
| 回答者数     | 436 人   |

### 回答者属性

|     |             |            |
|-----|-------------|------------|
| 大学  | 愛媛大学 49.4%  | 松山大学 50.6% |
| 性別  | 男性 52.1%    | 女性 47.9%   |
| 学年  | 1 回生 0.0%   | 2 回生 50.7% |
|     | 3 回生 29.7%  | 4 回生 18.2% |
|     | その他 1.4%    |            |
| 出身地 | 愛媛県内 63.3%  | 四国3県 17.3% |
|     | 中国・九州 14.1% | 近畿 2.5%    |
|     | 関東 0.9%     | その他 1.8%   |
| 住まい | 自宅 45.4%    | 自宅外 54.6%  |

注：集計は不明分を除く。また、小数点以下第 2 位を四捨五入して表記しているため、内訳の合計が 100%にならないことがある（以下、同じ）。

### 1. 月間の収支状況

#### (1) 収入状況～収入総額は過去最高に～

県内大学生の月間収入総額の平均は、自宅生が 6.9 万円、自宅外生が 12.0 万円となった。自宅外生は 2009 年に調査を開始してから最も高い額となり、自宅生も前回調査より増加した。学生全体では 9.8 万円と、2009 年の調査開始以来最高となった（図表-1）。

図表-1 毎月の平均収入額（n = 423）

|                      | (単位:万円)      |              |              |
|----------------------|--------------|--------------|--------------|
|                      | 全体           | 自宅生          | 自宅外生         |
| 収入総額                 | 9.8          | 6.9          | 12.0         |
| 親からの援助<br>(小遣い・仕送り等) | 2.9<br>(4.8) | 0.3<br>(1.3) | 5.1<br>(5.7) |
| アルバイト                | 4.3<br>(5.2) | 4.9<br>(5.6) | 3.7<br>(4.8) |
| 奨学金                  | 2.5<br>(5.6) | 1.6<br>(5.0) | 3.1<br>(5.9) |
| その他                  | 0.2<br>(2.5) | 0.1<br>(1.5) | 0.2<br>(3.6) |

注：各数値は全回答を平均したもので、〔 〕内は「ゼロ」との回答を除き平均したものの。

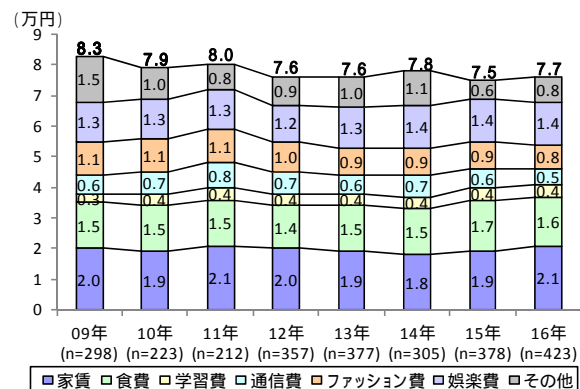
(2) 支出状況～収入は増えても支出は変わらず～  
月間支出総額（貯蓄を除く）の平均は、自宅生が 4.5 万円、自宅外生が 10.1 万円となった（図表-2）。

図表-2 毎月の平均支出額（n = 423）

|            | (単位:万円) |     |      |
|------------|---------|-----|------|
|            | 全体      | 自宅生 | 自宅外生 |
| 支出総額       | 7.7     | 4.5 | 10.1 |
| 家賃         | 2.1     | 0.0 | 3.7  |
| 食費         | 1.6     | 0.8 | 2.2  |
| 学習費(授業料除く) | 0.4     | 0.3 | 0.5  |
| 通信費        | 0.5     | 0.3 | 0.7  |
| ファッション費    | 0.8     | 0.8 | 0.8  |
| 娯楽費        | 1.4     | 1.5 | 1.3  |
| その他        | 0.8     | 0.8 | 0.9  |

全体の推移をみると、収入が増えているにもかかわらず、支出額にほぼ変化はない。学生の財布のヒモは固いようだ（図表-3）。

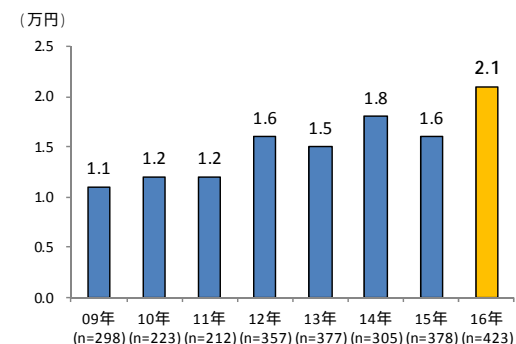
図表-3 支出総額の推移



注：太字は支出総額

毎月の貯蓄額は 2.1 万円と過去最高となった。推移を見ても、増加傾向にある。収入が増えた分、将来に向けて貯蓄するという最近の学生の堅実な姿がうかがえる（図表-4）。

図表-4 貯蓄額の推移



## 2. 就職に対する意識

今年は3月1日から会社説明会が、6月1日から面接選考が解禁になった。今まさに就活真ただ中の4回生と、就活を目前に控えた3回生を対象に、就職に対する意識を調査した。

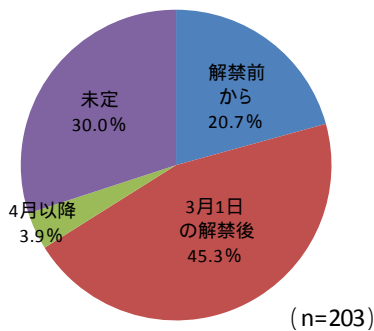
### 回答者属性

|      |       |       |      |       |
|------|-------|-------|------|-------|
| 回答者数 | 208人  |       |      |       |
| 大学   | 愛媛大学  | 73.4% | 松山大学 | 26.6% |
| 性別   | 男性    | 44.0% | 女性   | 56.0% |
| 学年   | 3回生   | 62.0% | 4回生  | 38.0% |
| 出身地  | 愛媛県内  | 64.3% | 四国3県 | 14.0% |
|      | 中国・九州 | 16.4% | 近畿   | 3.9%  |
|      | 関東    | 1.0%  | その他  | 0.5%  |
| 住まい  | 自宅    | 50.0% | 自宅外  | 50.0% |

### (1) 就活の現状 ~ 4回生から本格化~

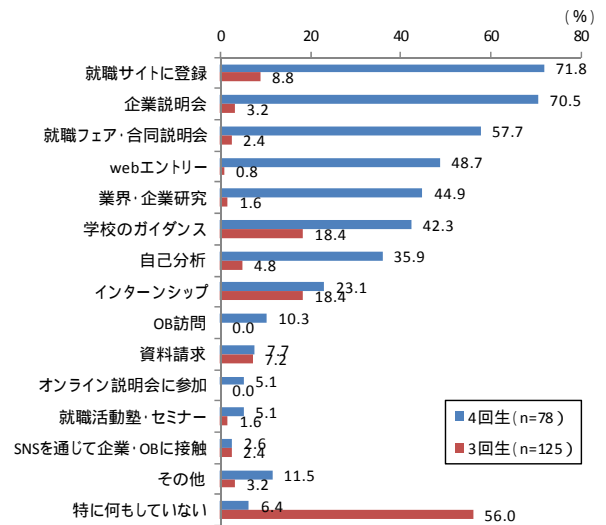
就活を始める時期について尋ねたところ、「3月1日の解禁後」に初めて取りかかった、取りかかろうと思っている人が45.3%と最も多くなった。4月以降の“スロースターター”はわずか3.9%であり、ほとんどが3回生から4回生に進級する前の春休みには就活をスタートさせるようだ(図表-5)。

図表-5 就活を始める時期



具体的な就活の内容について尋ねると、4回生では7割強が「就職サイトに登録」(71.8%)し、「企業説明会」(70.5%)に参加、「web エントリー」(48.7%)を提出するなど、本格的に活動している様子がうかがえる。一方、3回生はまだ6割弱が「特に何もしていない」(56.0%)状況である(図表-6)。

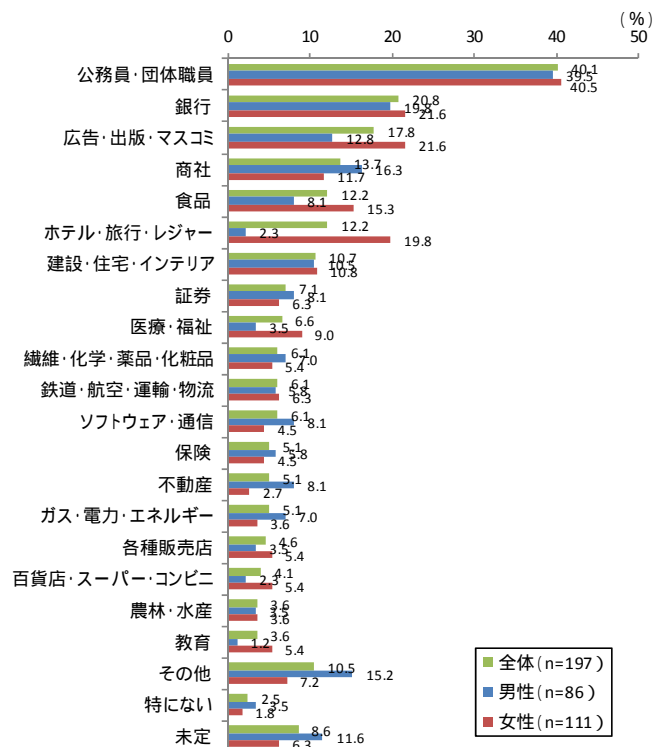
図表-6 具体的な就活の内容<複数回答>



### (2) 就職先の希望 ~ ダントツ人気は公務員~

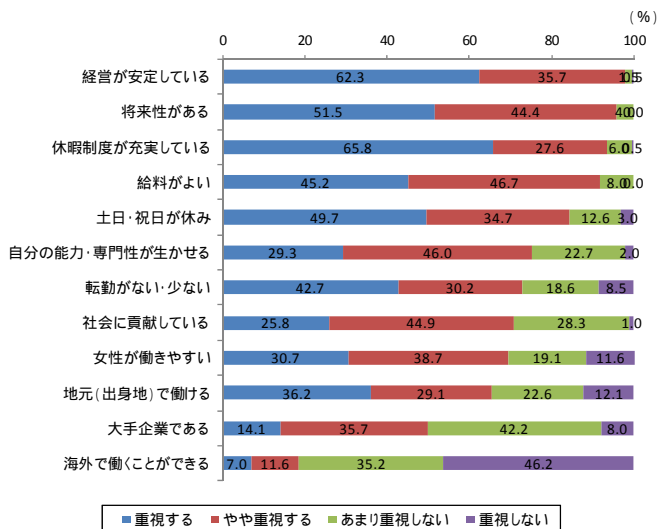
就職先の希望を尋ねたところ、「公務員・団体職員」(40.1%)が男女とも最多となった。自由回答のなかにも、「将来はなるべく安定していきたい」「安定した収入を得られるところに就職したい」など、“安定”という言葉が多くみられた(図表-7)。

図表-7 就職先の希望<複数回答>



就職する際に重視することを尋ねたところ、「経営が安定している」ことを重視する（「重視する」「やや重視する」の合計）学生が98.0%と最も多く、「将来性がある」（同 95.9%）、「休暇制度が充実している」（同 93.4%）が続いた。やはりここでも“安定”を重視する学生が多くなった（図表-8）。

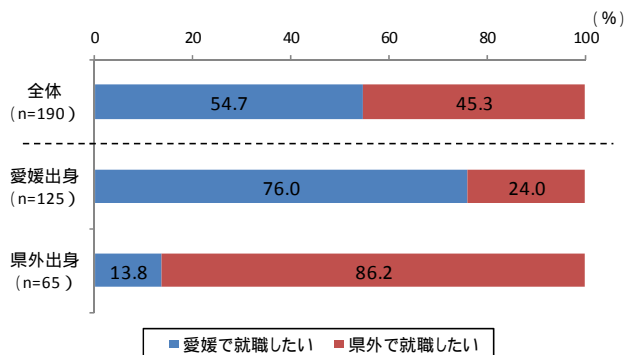
図表-8 就職する際に重視すること（n=199）



(3) どこで働きたいか ~地元志向が強い~

就職するなら愛媛か県外かを尋ねたところ、出身地別にみると、愛媛出身で「愛媛で就職したい」と答えたのは76.0%と8割弱を占めた（図表-9）。また、県外出身で「県外で就職したい」と答えた学生は、ほとんどが自由回答で「自分の出身地で就職したい」と答えており、地元志向の強い学生が多いと言える。

図表-9 どこで就職したいか

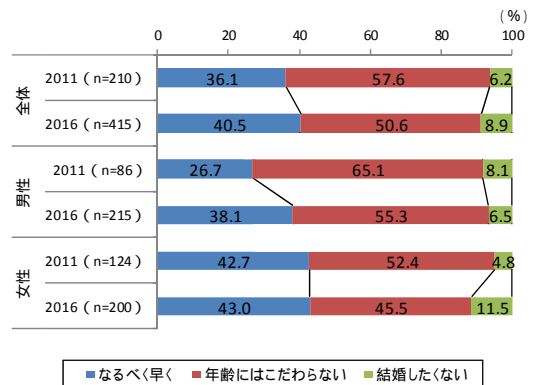


3. 結婚観・子ども観

学生の結婚や子どもに対する意識についても調査した（1～4回生対象）。

「結婚したい（「なるべく早く」「年齢にはこだわらない」の合計）」と答えた男性が93.4%であるのに対し、女性は88.5%と、「結婚したくない」割合は女性（11.5%）が男性（6.5%）を上回った。2011年調査では、「結婚したい」と答えた男性は91.8%、女性は95.2%であり、ここ5年で男女の結婚願望が逆転していることが分かる（図表-10）。

図表-10 結婚のタイミング



また、11年調査では、「結婚したい」人全員が「子どもが欲しい」と回答したが、今回の調査では「結婚したい」もの子どもは「欲しくない」とした人が3.7%、「結婚したくない」が子どもは「欲しい」と答えた人も8.4%と、“結婚”や“出産・育児”に対する考え方の多様化が進んでいると言える。

おわりに

県内大学生の月間収入総額は調査を開始してから最多となったが、収入が増えても支出ではなく貯蓄に回すという堅実な学生の姿が浮かび上がった。

また、地元で就職・結婚し、安定した生活を送りたいと考える学生が多い一方、自分のやりたいことを模索する学生や、結婚にこだわらずキャリアを積みみたい女性も増えているようだ。就職や結婚は、今後の人生を左右する大きな節目となる。愛媛の将来を担う若者たちの選択に幸多からんことを。

（加藤 あすか）